

令和4年5月31日

京都市長 門川 大作 様

京都市醍醐交流会館コンソーシアム
代表者 京都醍醐センター株式会社
代表取締役 平井 義也

令和3年度 京都市醍醐交流会館事業報告書

京都市醍醐交流会館の管理に関する協定書第5条1項に基づき、
令和3年度の事業報告書を下記のとおり提出します。

記

- 1 利用実績（別紙1）
- 2 執行報告書（別紙2）
- 3 利用者の満足度やニーズの状況（別紙3）
- 4 管理業務の自己評価（別紙4）

京都市醍醐交流会館 令和3年度 実績報告(2021年4月～2022年3月分)

1、施設利用率(日数利用率、区分稼働率)

施設名称	日数利用率	前年度同期比	区分稼働率	前年度同期比
ホール	67.4%	15.8pt	41.3%	7.9pt
第1・2会議室	87.5%	8.5pt	48.9%	4.7pt
第1会議室	89.1%	5.3pt	51.0%	2.0pt
第2会議室	85.9%	11.6pt	46.7%	7.2pt
第3会議室	67.1%	3.0pt	34.2%	2.7pt
和室A・B	76.6%	-0.7pt	40.7%	-2.6pt
和室A	68.8%	-1.3pt	34.2%	-3.1pt
和室B	84.4%	-0.1pt	47.3%	-2.0pt
音楽スタジオ	75.7%	-3.2pt	43.6%	1.1pt
合計	77.2%	4.4pt	42.6%	2.1pt

2、収納金額(施設及び付属設備使用料)

施設名	合計(単位:円)		前年度比
ホール 使用料	収納金額	3,882,710	155.9%
	還付金額	67,920	
	還付金額差引後	3,814,790	
第1～3会議室 使用料	収納金額	4,794,210	117.2%
	還付金額	152,270	
	還付金額差引後	4,641,940	
和室A・B 使用料	収納金額	890,240	100.2%
	還付金額	36,760	
	還付金額差引後	853,480	
音楽スタジオ 使用料	収納金額	1,068,550	104.9%
	還付金額	79,020	
	還付金額差引後	989,530	
付属設備 使用料	収納金額	2,890,580	181.6%
	還付金額	0	
	還付金額差引後	2,890,580	
合計	収納金額	13,526,290	134.7%
	還付金額	335,970	
	還付金額差引後	13,190,320	

*京都府緊急事態宣言措置又は京都府まん延防止等重点措置に伴い、施設の閉館や利用の取消申出を受けた場合は使用料が還付されます。

(参考)過去3年間における施設利用率(日数利用率及び区分稼働率)と収納金額の推移

年度	日数利用率	前年度比	区分稼働率	前年度比	収納金額			前年度比 (A比)
					収納金額 (A)	還付金額 (B)	当初収納額 (A+B)	
令和2年度	72.8%	-12.1pt	40.5%	-12.2pt	¥9,795,020	¥896,550	¥10,691,570	75.4%
令和元年度	84.9%	-0.8pt	52.7%	-0.6pt	¥12,983,780	¥2,376,480	¥15,360,260	79.8%
平成30年度	85.7%	-3.7pt	53.3%	-1.7pt	¥16,261,890	¥6,070	¥16,267,960	97.1%

京都市醍醐交流会館
令和3年度 執行報告書

受任金額 金 58,690,000 円
 執行金額 金 56,600,662 円
 差引額 金 2,089,338 円

執行内訳

単位:円

項目	予算額	執行額	備考
管理運営費	16,000,000	17,846,761	シルバー人件費、DC人件費
警備保安費	409,090	434,100	防犯・防災警備、館内巡回、ITV等監視
設備保守管理費	14,545,455	16,348,294	施設整備保守管理、ホール等照明・音響運営委託等
設備修理費	2,727,273	688,954	設備補修修繕等
環境衛生費	8,000,000	8,236,008	清掃費、ごみ処理費
広告宣伝費	909,090	45,000	ホームページ更新
光熱水費	7,454,546	6,020,352	電気・水道・ガス
諸雑費	3,309,092	1,835,679	管理事務費、消耗品費、通信費、リース料等
小計	53,354,546	51,455,148	
消費税(10%)	5,335,454	5,145,514	
合計	58,690,000	56,600,662	

京都市醍醐交流会館 利用者の満足度やニーズの状況

1 利用者満足度の把握状況

事業参加者に対するアンケートのほか、受付窓口等においても要望を確認するなど意見集約を随時実施している。

【回答数】 84.0%

2 利用者満足度把握の結果

(1) 事業参加者アンケート

事業内容に関しては、各事業について概ね好評価をいただき、事業の継続実施及び更なる充実を希望する声が大半である。特に感染予防対策のため実施を見合わせていた LP レコード鑑賞会の開催時には多くの方から喜びの声と評価をいただいた。

(2) 施設利用に関する要望

ア 老朽化している備品の更新を望む声が多い。

イ 安心して施設利用できるよう、引き続き万全な感染予防対策を講じて欲しいとの意見が多い。

3 意見等への主な対応状況

備品については、利用頻度及び使用状況を把握したうえで、適切に更新が進められるよう関係部署に働きかけている。

京都市醍醐交流会館 管理業務の自己評価

- 1 時代の需要に即した適応力と対応力のある施設運営を目指している。
- 2 少子高齢化に伴う利用状況の変化が顕著となっている状況を踏まえ、世代間の交流を促進し、多くの世代が集える自主事業の企画立案を進めている。
- 3 施設や備品については、適正に維持管理するよう心掛けている。
- 4 施設の利用状況及び使用料収入については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも継続的な利用に対するサポートや新たな利用の獲得に努め、前年度実績を上回る結果となった。
引き続き、当施設が、多くの方の交流を促進する場としてご利用いただける公共施設になるよう努めている。